

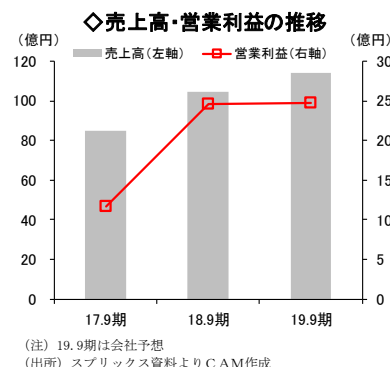
企業ニュース スプリックス

(東証1部：7030) <https://sprix.jp/>

作成者：村上大志

個別指導塾「森塾」を展開

1997年、設立。1校舎当たりの平均生徒数が300名以上の個別指導塾「森塾」を展開する。定期テストで1科目20点以上成績が上がることを保証する「成績保証制度」導入で他社との差別化を図る。小・中学生を対象とした個別学習塾「自立学習RED」も展開する。教育ITコンテンツで指導するため基本的に講師が不要で、採用が厳しい地方など小商圏での展開も可能にしている。また、FC（フランチャイズ）展開のため、展開スピードが速い。学習塾以外の事業では、学習塾用教材「フォレスト」シリーズの開発・販売を行っており、個別指導塾を中心とした各地の教育関連企業で採用されている。18.9期の事業別売上高構成比は学習塾サービス85%、教育関連サービス15%。



夏期講習での挽回に期待

19.9期・第2四半期累計（10-3月）の業績は、売上高が59億1,300万円、前年同期比13%増、営業利益が15億6,100万円、同4%増。森塾の直営は97教室、同9教室増、直営在籍生徒数は23,659人、同1,921人増。自立学習REDのFCは65教室、同23教室増。春期講習が不調だったが、教室数の拡大に伴う生徒数の増加でカバーした。営業利益率は26.4%、同2.4ポイント減。積極的なWebプロモーションを行ったため、広告費が増加した。

19.9期の会社計画は、売上高が114億100万円、前期比9%増、営業利益が24億7,400万円、同0.3%増。森塾の生徒数は春期講習の不調により計画比で3%程度下回っているが、教室数の拡大は順調で夏期講習での挽回に期待したい。自立学習REDや教育関連サービスは計画通りに推移している。当社は経済産業省『「未来の教室」実証事業』の事業者として採択されている。同実験はEdTech（教育×IT）などを活用した新たな学習プログラムの開発などを指すもので今後の展開に注目したい。また、サイバー（4751）子会社と新会社を設立し、学習塾等へのプログラミング教育支援サービスを開始した。プログラミングは2020年より小学校で必修化が決定しており、同サービスの需要拡大が期待できよう。

[株価動向・投資判断]

生徒数の伸び悩みが嫌気され上場来安値を更新したが、教室数は順調に増加しており、押し目買いの好機と捉えたい。EdTech関連銘柄としても関心を集めよう。

<7030 スプリックス 業績:非連結>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.9	8,504 (21)	1,164 (130)	1,165 (131)	854 (268)	8,071.5	2420.00
18.9	10,451 (23)	2,467 (112)	2,423 (108)	1,566 (83)	97.1	記35.00
19.9 予	11,401 (9)	2,474 (0)	2,473 (2)	1,595 (2)	93.1	30.00

(注)18年3月1日付で普通株式1株につき150株の株式分割を実施。



[主要株価指標]	(売買単位：100株)
株価 (2019/7/1)	1,735 円
年初来高値 (高値日)	2,880 円 (19/4/1)
同 安値 (安値日)	1,643 円 (19/6/28)
予想 P E R (19.9 予)	18.6 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	417.5 円
P B R	4.16 倍
予想配当利回り	1.73 %
(1株当たり配当金年30.00円)	
R O E (18.9)	34.6 %
発行済み株式数	1,713 万株